

区民
かわら
版

第6回

山科区基本計画策定委員会開催

9月27日、第6回山科区基本計画策定委員会を開催しました。

今回は、新「山科区基本計画」の素案に対する意見募集（パブリック・コメント）結果の反映について検討を行いました。計画素案の前半部分に対する意見の反映について議論されたほか、ご意見の多くを占めた個別・具体的な取組案や要望、課題については、基本的には、計画を推進していく段階で活用することなどが確認されました。

また、各委員からは、「ワーク・ライフ・バランスは将来を見据えると非常に重要」という意見や、「計画策定後、計画の内容を行政と区民がともに実行していくことが大事」といった発言がありました。また、当日は、応募のあったキャッチフレーズ案への投票が行われま

した。次回（12月中旬）の策定委員会では、素案の最終案の議論やキャッチフレーズの選定が行われる予定です。

数多くのご意見、キャッチフレーズ案をいただき、ありがとうございました。

意見内容については山科区役所のホームページに掲載しています。

募集期間 平成22年7月1日～8月31日

意見総数 439件（出前パブコメを含む）

キャッチフレーズの応募件数 156件

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）



山科区民花の回廊募金にご協力ください

「山科区民花の回廊募金」は、区民の皆さんの募金をもとに、花の植樹・植栽を行い、潤いのあるまちにしていこうとを目的に実施しています。今年度から3年計画で、区内市立小学校にサクラやハナミズキなど様々な花を植樹します。なお、1口以上の募金者の皆さんをお招きして植樹式を行います。

お子さんが通う小学校、地域の小学校、卒業した母校などへの皆さんの想いを植樹を通して届けませんか。



植樹計画

平成22年度

安朱小、百々小、小野小

平成23年度

勸修小、鏡山小、陵ヶ岡小、音羽川小、西野小

平成24年度

音羽小、大宅小、山階南小、大塚小、山階小

申込方法 募金を添えて、区まちづくり推進課までお越しください。

個人一口 3,000円から

団体・企業一口 30,000円から

※一口以下の場合でも、受け付けさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

問合せ先 区まちづくり推進課（☎592-3088）

「めぐるくんの店」をご利用ください!!

市では、簡易包装の推進、レジ袋の削減、修理サービスや食品トレイ・牛乳パックの店頭回収など、ごみの減量やリサイクルに積極的に取り組んでいるお店を「めぐるくんの店」として認定し、市民の皆さんの利

用を推奨しています。

皆さんも「めぐるくんの店」を積極的に活用するなど、ごみの減量やリサイクルの推進にご協力ください。

問合せ先 市循環企画課（☎213-4930）



このステッカーが貼ってあるお店が目印です

<区内の「めぐるくんの店」>

店 名	所 在 地
ラブリー	北花山中道町35-4
イザヤビジネスツールズ株式会社 （ダスキン比叡 京都店）	四ノ宮鎌手町33-17
生菓子処 葵	西野今屋敷町27-4

みんなでつくろう 新しい山科区基本計画

5 「子育て・福祉・保健」について

今回は、小さいお子さんをお持ちの方が集まる「げんきスポット0-3」（山科醍醐こどものひろばが運営）で「子育て・福祉・保健」について、お話を伺いました。

●子育てに関して感じていること

- ・公園が少ない。また、あっても日よけや水道がなかったり、たばこの吸殻が多かったりして遊びにくい。
- ・山科は、医療面や買い物に行く生活の面では充実していると思う。

●こうすればよくなる

- ・山科醍醐こどものひろばのような子育て中の人が集える施設がもっとほしい。
- ・暑い時に、足を浸たり、噴水が出たり、ちょっとした水遊びができる場所があればいい。

いい。

- ・ベビーカーで移動するので、ノンステップバスがあれば便利。
- ・地下鉄にもおむつ交換のベッド・授乳室がほしい。
- ・歩きたばこの人が多いと思うので、禁止を強化してほしい。

子育てをされる視点から、必要なものや日々感じておられることなど、さまざまな意見が寄せられました。

問合せ先 区総務課企画広報担当（☎592-3066）



山科の魅力

“ええとこ・ええもん”

第3回 山科の母なる川・山科川



上流は牛尾山ハイキングコースと併走するように流れています。

写真の「蛇壺」は大蛇が住んでいたと言われる伝説があります。

音羽川小学校南側の堤防は、間伐材の木片で舗装した「ウッドチップの小道」となっています。環境に優しく、周囲の風景にも溶け込んでいます。



安祥寺川と合流し、西向きから南向きへと流れが変わります。川幅も広くなります。カワセミをはじめ、カモやサギなど様々な野鳥も見ることができます。両岸には遊歩道が整備され、散策や野鳥観察に親しまれています。



山科盆地は東西方向が西側に、南北方向は南側に緩やかに傾斜しています。そのため山科川は、山科盆地の東側の山間部を源流に、山科盆地を西に向かって流れ、他の多くの川と合流しながら南へ曲がって流れていきます。上流部のせせらぎから、市街地の緩やかな流れまで、区内で様々な表情を見せる川です。山科川を上流から下って見てみましょう。

山科は平安京造営以前から人の営みがあった地域ですが、それは山科川という水利に恵まれたことと無関係ではないでしょう。地理的にも歴史的にも、山科という地域を形作った山科川の流れは、永い時を経た今も山科を潤しています。

問合せ先 区まちづくり推進課（☎592-3088）